

北海道知事選挙告示

池田まき候補が第一声

誰一人置いてきぼりにしない、
私たちの声がしっかり反映される、
あたたかい道政をつくる

3月23日に統一地方選挙の最初のたたかいとなる北海道知事選挙が公示されました。市民と野党の統一候補・池田まきさんは第一声で「政治の役割は、命や暮らし、そして平和を守ること」であり「誰一人置いてきぼりにしない、私たちの声がしっかり反映される、あたたかい道政をつくっていきます」と力強く訴えました。

すべての組合員・家族が投票に行こう

選挙は私たちの要求実現の大事なたたかいです。すべての組合員・家族が憲法で保障された選挙権（参政権）を必ず行使しましょう。投票日当日に仕事や用事がある場合は「期日前投票」を。

殖産運輸支部が春闘要求書

殖産運輸支部は3月3日に要求書を提出しました。要求は「基本給34,000円増額」「夏季一時金1.5か月分、年末一時金2.5か月分」「燃料手当10万円」などとともに、荷役作業における身体的負担の軽減措置や就労における心身の安全を確保するための措置を求めています。

JR北海道が線別収支とアクションプランの取り組みについて報告

3月8日JR北海道から2022年度第3四半期の線別収支報告とご利用状況について報告され、アクションプランの取組状況が説明されました。収支報告では各線区ともに国内の行動制限や訪日観光の水際対策の緩和と国や道による需要喚起策の活用で利用が増加したが、動力費が原油価格高騰による燃料や電気の単価が上昇したことで大きな影響を受けている状況でした。アクションプランについては各線区で利用者の皆さんと一体で利用促進・経費削減に取り組んでいることが説明されました。建交労からは線別収支報告の中で4つに区分された線区の中で新幹線のみが営業費用が増加していることに疑問を持ち、なぜ新幹線だけが増加しているのか、特別な工事の発生や計画されていた工事費用が材料の高騰によって増加したのかと疑問を繰り返し、組合に報告される前には会社上層部への報告がおこなわれており、その際に同様の質問がなされていないことに疑念を持ちました。アクションプランについては会社と利用される皆さんとの取り組みが一層活発になって、2日に行われた国土交通省交渉で感じ取られた鉄道の役割や必要性を行政に伝える一つ方法として大きくアピールできるものなので今後も頑張りたいとエールを送り、疑問を終わりました。